

I 飼料作物の奨励品種と特性

区分	作物名	作型・利用タイプ	品種名	特性
春 夏 作物	とうもろこし	極早生	相対熟度108	パイオニア108日 (34N84) 耐倒伏性、耐折損性に優れる。乾物収量についてはタカネスターと同程度。
			相対熟度110	スノーデント110 (L63520) 稈長が長く、耐倒伏性に優れる。乾物収量についてはタカネスターと同程度。
		早 生	相対熟度113	タカネスター 耐倒伏性が高い。乾物雌穂重割合が高く、収量性も安定して高い。二期作（一作目）に適する。
			相対熟度115	スノーデント115 (SH4681) 病害の発生が少なく、収量性も安定して高い。
			相対熟度115	ロイヤルデントTX1334 稈長が大きく、着雌穂高が高いものの、耐倒伏性が優れる。虫害、折損も少ない。
		早中生	相対熟度123	クミアイデント123 (GX5006) KD720に比べて、乾物雌穂重割合および乾物収量が高い。
		中 生	相対熟度125	ゆめそだち(九交B78) 乾物雌穂重割合が安定して高く、TDN収量、TDN割合が高い。
			相対熟度125	Z-Corn125 ゆめそだちに比べて、乾物雌穂重割合は低いものの、茎葉乾物収量は多く、同程度の総乾物収量が得られる。
		中晩生	相対熟度125	サレージョ-NS125スーパー 虫害、折損が少なく、耐倒伏性、収量性が優れる。
			相対熟度127	クミアイデント127N 乾物雌穂割合がやや低いものの、乾物収量については ゆめつよと同程度。
			相対熟度125	ゴールドデントKD751W 稈長が大きく、虫害、折損に強い。
		晩 生	相対熟度135	パイオニア135日 (30D44) 南方さび病についてはTX128並に強く、耐倒伏性もある。年次により不稔がみられるものの乾物雌穂重割合は高く、乾物収量も非常に高い。
			早生	元氣ソルゴ 細莖で耐倒伏性に優れ、再生力良好。
		ソルゴム	早生	華青葉 乾物収量は劣るが、消化率は高い。
			極晩生	ビッグシュガーソルゴ(F5902) 極長稈、乾物多収、夏播きに適す。
スーダングラス	極早生	極早生	ヘイスーダン (HSK-1) 極細莖、分けつ多く再生力旺盛で多回刈に適、安定多収型。	
		早生	リッチスーダン 耐倒伏性と消化性に優れ、可消化乾物収量が高い。	
	中生	ベールスーダン (HS-9401) 初期成育に優れ、病害が少なく、多収。		

区分	作物名	作型・利用タイプ	品種名	特 性
秋 冬 作 物	イタリアンライグラス	極早生	ミナミアオバ	草型は直立型である。早播き（9月中旬）による増収効果が大きく、年内収穫が可能。また、冠さび病抵抗性が強い。
			さちあおば	いもち病抵抗性が強く、9月上旬播種が可能である。年内刈取り時の収量が高く、耐倒伏性に優れている。冠さび病抵抗性も強い。晩夏播きによるえん麦との混播が可能である。
			ハナミワセ	出穂はミナミアオバよりも早い。再生および耐倒伏性が良好であり、乾物率、乾物収量が高い。
			あかつき	出穂はミナミアオバよりもやや遅い。倒伏に強く、乾物収量も安定している。
			ヤヨイワセ	いもち病抵抗性がさちあおばより強く、9月上旬播種が可能である。さちあおばと比較して、年内草の収量、春1番草の収量が高い。極早生の中で出穂が1番早い。
		早生	ワセユタカ	収量は他の早生品種と同等であるが、倒伏に弱い傾向がある。
			ワセアオバ	他の早生品種に比べて、初期早勢がやや劣るが、収量はほぼ同等である。
			タチワセ	直立型で倒伏に強く、乾物収量も安定している。乾草用に適する。
			タチマサリ	直立型で草丈が高いが、倒伏に強い。乾物収量はワセユタカ、タチワセと同等。
			いなずま	直立型で倒伏に強く、乾物収量も安定している。
		中生	ゼロワン	直立型で倒伏に強く、乾物収量が高い。硝酸態窒素の蓄積量が少ない
			タチムシヤ	直立型で倒伏に強く、年内刈りから春一番までの乾物収量が高い。
			タチサカエ	タチムシヤよりやや晩生。倒伏に強く、乾物収量もタチムシヤ並み。
			ジャイアント	広葉で収量性が高い。再生も良好で放牧利用にも適する。
			マンモスB	広葉で収量性が高く、倒伏し易い。
中晩生	ヒタチヒカリ	やや直立型で広葉で再生および耐倒伏性が良好である。長期利用に適し、高い収量性を維持する。		

区分	作物名	作型・利用タイプ	品種名	特 性	
秋 冬 作 物	えん麦	超極早生	ウルトラハヤテ「韋駄天」	スーパーハヤテ「隼」よりも出穂と登熟が早く、乾物収量が早い。低温伸長性が鈍いため8月下旬から9月上旬の播種に適する。	
			さががけ	極早生の中で出穂が1番早い。乾物収量はウルトラハヤテ「韋駄天」と同程度。	
			スーパーハヤテ「隼」	極早生品種の中で出穂が最も早く、晩夏播きで年内に登熟が可能。 耐倒伏性にややかけるが、乾物収量が高い。	
		極早生	スピードスワロー	出穂が早く、晩夏播きで年内に登熟する。乾物収量がやや低い。	
			はえいぶき	極早生品種の中で茎数が多く、倒伏に強い。晩夏播きで年内に登熟が可能。	
			たちいぶき	生草収量はスーパーハヤテ「隼」よりやや高い。茎数が多く倒伏に強い。	
			ニューウエスト	乾物収量、草丈ともにスーパーハヤテ「隼」と同程度。倒伏については若干強い。	
			アーリーキング	乾物収量はスーパーハヤテ「隼」と同程度だが、倒伏に強く、乾物率が高い。	
			たちあかね	スーパーハヤテ「隼」と比べ、草丈はやや低い。乾物収量はやや多く、倒伏に強い。	
			早生	ハイオーツ	生草収量、乾物収量について1番草、2番草ともに高い。
				乾草えん麦	乾物収量、草丈ともにハイオーツと同程度。
				アムリⅡ	耐倒伏性、耐病性ともに強く、生草収量および乾草収量については1番草、2番草ともに高い。
中生	ニューオールマイティ	耐倒伏性、耐病性ともに強く、生草収量および乾草収量も「アムリⅡ」同様に高い。			
	ワセドリ2条	年内に糊熟期に達し、晩夏播きで年内ホールクロップサイレージが可能である。			
飼料用大麦	秋まき	ニシノチカラ	秋播きで高収量が得られ、耐病性に優れており、うどんこ病に極めて強い。		

区分	作物名	作型・利用タイプ	品種名	特 性	
イネ科 牧草	ローズグラス	乾草主体	カタボンボラ	日長感応性が高いため、出穂は秋季に多くみられる。ほふく茎数が多く、草型はほふく型である。夏季の乾物収量が高い。	
	ギニアグラス	青刈・乾草	ナツカゼ ナツココマキ	出穂が遅く、稈は太く、葉幅広く長大型の多収型で踏圧に弱い。	
	ハビアグラス	放牧・乾草	ペンサコラ	2倍体で葉長が長く、葉幅が狭い。低温伸長性が良好。出穂茎が多いため嗜好性がやや劣る。	
	ネピアグラス	放牧・青刈・サイレージ	矮性晩生 (Dwarf Late, DL)	永年性で嗜好性が良く、収量性が高い。苗での移植による。	
	センチピードグラス	放牧・乾草	ティフブレア	バヒアグラスに比べ年間収量は劣るものの、耐寒性、対陰性に優れる。シバ型草種の中でも傾斜地での定着性も優れる。	
	トールフェスク	放牧・乾草	サザンクロス	草型は叢(そう)生で、再生が良好。冠さび病に強く、耐暑性が高い。	
	オーチャードグラス	放牧	ウシブエ	草型は叢(そう)生で、再生が良好。冠さび病に強く、耐暑性が高い。	
	青刈ヒエ類	放牧・乾草	ナツミドリ	草型は叢(そう)生で、再生が極めて良好。冠さび病に強く、耐暑性、耐寒性が高いが、耐湿性が低い。	
	シロクローバ	放牧	中生	青葉ミレット	草丈が高く、多収である。耐湿性が高い。
			中生	グリーンミット中生	耐湿性が強く、乾物収量が高い。
	アカクローバ	採草・放牧	中生	マキバシロ	草型はほふく型で、葉幅がやや広く茎が太い。分げつが多く、再生も良好。
			中生	フィア	草型はほふく型で、葉幅が狭く茎が細い。分げつが多く、再生も良好。
	飼料用イネ (WCS用)	晩生 極晩生	早生	ケンランド	草型は直立型で、耐病性、耐暑性がやや強い。再生が良好。
			早生	たちすずか	出穂は「ヒノヒカリ」より遅く、水稻の収穫後に収穫が可能。
早生			タチアオバ	他の品種と比べて、稈長が長く、穂長が短いため、刈遅れでも倒伏しにくい。茎葉の単少糖含量が高いことから、乳酸含量の高い良質なサイレージとなりやすく、牛の嗜好性も良好。	
				出穂は「ヒノヒカリ」より遅く、水稻の収穫後に収穫が可能。 耐倒伏性は極強で、稈長が長く、乾物収量が高い。TDN含量が低いのが欠点。	